

令和元年度 第1回 加古川市地域公共交通会議 議事概要

○開催概要

開催日時	令和元年7月10日（水） 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	加古川市役所 新館10階 大会議室
出席者	委員17名、オブザーバー4名、事務局5名
議事次第	1 開会 出席状況報告 会議の趣旨 2 議事 協議事項1：加古川右岸地域における公共交通再編方針について 協議事項2：加古川南部地域における公共交通再編方針について 協議事項3：神姫バス市内上限運賃制度の導入について 3 その他 4 閉会 副会長あいさつ

○議事概要

■ 協議事項1：加古川右岸地域における公共交通再編方針について

<説明概要>

加古川右岸地域における路線バスについては、利用者の減少や経営状況の悪化が続いており、1便当たりの乗車人数が10人未満となっている。

また、乗務員不足の影響もあり、神姫バス（株）より志方線（宝殿駅北口～志方西口～細工所北口）及び広尾線（加古川駅～小畑口～広尾東）について、路線休止の申出を受けている。

当該地域は高齢化が進展しており、買い物や通院などで高齢者の日常生活における移動手段の確保を求める声が大きくなってきている。

一方、路線バスを必要とするほどの乗車人数が見込めないなか、利用状況に応じた「かこバスマニ」への転換を図り、地域内をきめ細やかに運行する路線へ再編することにより、公共交通網の維持及び地域住民の移動手段確保を図るものである。

【再編方針】

（1）志方線（宝殿駅北口～志方西口～細工所北口）

- ・ 目 的 通勤、通学、買い物、通院 等
- ・ 運行形態 路線定期運行
- ・ 運行ルート 別紙2のとおり
- ・ 運行時間帯 かこタクシー程度（6時～20時）
- ・ 車 両 ワゴン車2台
- ・ 再編時期 既存神姫バス路線の休止（令和2年3月末）

新規路線の運行開始（令和２年４月１日予定）

※既に運行している「かこバスミニ・しろやま号」は、志方線で再編を行う「かこバスミニ」路線に統合する。

（２）広尾線（加古川駅～広尾東）

- ・目的 買い物、通院 等
- ・運行形態 路線定期運行
- ・運行ルート 別紙３のとおり
- ・運行時間帯 かこバスミニ山手ルート程度（９時～１７時）
- ・車両 ワゴン車１台
- ・再編時期 既存神姫バス路線の休止（令和２年３月末）

新規路線の運行開始（令和２年４月１日予定）

今後のスケジュールは、令和元年１２月に地域公共交通会議を開催し、再編に係る路線の休止及び新規路線の運行について協議予定。

<意見・質疑応答>

（委員）

これまでに利用者数を増やすような取り組みはあるか。

（事務局）

コミュニティバスについては無料乗車券を配布するなどで利用促進を図ったが、効果は限定的で大幅な利用者の増加にはつながらなかった。

この度の再編では車両が大型バスからワゴン車に小型化されるメリットを活かし、地域内をきめ細やかに運行し、運行本数も現状以上にすることで利用者の増加につなげていきたい。

（委員）

各地域を回ること、駅までの運行時間が長くなるのではないか。

（事務局）

最短ルートにするとカバーできないエリアが増えてしまう。

この地域の状況を総合的に考えると、ある程度の時間がかかっても、広くエリアをカバーすることを優先したい。

（委員）

障がいをお持ちの方で自宅からバス停までの移動に苦慮されている方の声を多く聞く。

そういった方々は、地域内をきめ細やかに運行してもらえると助かると思う。

（委員）

地域への意見聴取はどのようにしたのか。地域からの反対はないのか。

（事務局）

志方町においては各町内会連合会長を通じて、各町内会の意見を集約していただいた。

西神吉町・平荘町においては町内会連合会の総会の場をお借りして意見聴取を行った。

現在の再編案はその意見等を反映したものであり、概ね了解をいただいている。

■ 協議事項２：加古川南部地域における公共交通再編方針について

<説明概要>

加古川南部地域を運行する播磨町線（加古川駅～大崎～播磨町駅）は、運行便数も少なく、利用者が減少している。

また、乗務員不足の影響もあり、神姫バス（株）より播磨町線について、路線休止の申出を受けている。

加古川南部地域については、旧浜国道周辺は比較的人口が密集していることからバスの潜在需要が見込まれるため、播磨町線及び高砂線、別府線を、新たなかこバス路線へ再編することで、通勤・通学にも利用できる運行本数を確保し、幹線の維持・強化を図る。

【再編方針】

- ・ 目 的 通勤、通学、買い物、通院 等
- ・ 運行ルート 地域住民、交通事業者等 関係機関と協議中
- ・ 運行時間帯 通勤・通学利用が可能な時間帯を想定
- ・ 再編時期 既存神姫バス路線の休止（令和２年９月末）
新規路線の運行開始（令和２年１０月予定）

今後のスケジュールは、令和２年度に地域公共交通会議を開催し、再編に係る路線の休止及び新規路線の運行について協議予定。

<意見・質疑応答等>

（委員）

再編案はまだできていないのか。

（事務局）

提示できる状態ではない。

計画では播磨町線が現状１日２往復しかないので、「かこバス」へと転換を図ることで運行本数の増加を図り、利用促進につなげたいと考えている。

しかしながら、乗務員不足が深刻化しており運行本数の確保が困難な状況である。

既存の神姫バス路線をスクラップアンドビルドしつつ、「かこバス」への転換を図ることで運行を効率化し、運行本数の確保を図りたい。

（委員）

再編の際には駅への接続も考慮いただければありがたい。

■ 協議事項３：市内上限運賃制度の導入について

<説明概要>

市内で運行している神姫バスの運賃は国の認可運賃となっており、距離に応じて１０円単位で増加する運賃体系である。

一方、コミュニティ交通である「かこバス」は、利用のしやすさを重視し、距離に応じて１００円、２００円と２段階の分かりやすい運賃体系（協議運賃）で設定しており、地域で運行されている公共交通の種別によってバス移動に係る運賃に格差が生じている。

「かこバス」は毎年利用者が増加しているが、神姫バス路線では利用者の減少が著しく、運賃が

高いこともその一因となっている。

近年、神姫バス路線では利用者の減少に伴って、路線の減便・休止が相次いでおり、市内の公共交通網の維持が危ぶまれる状況になりつつある。

【制度実施（案）】

- ・ 目 的 運賃格差の是正及びバス利用促進
- ・ 制度内容 市内を運行する神姫バスについて、神姫バスのＩＣカード（ニコパカード）を使用し、市内の停留所（市で指定）で乗降した場合、運賃に上限額を設定する。
なお、神姫バスの運賃体系は国の認可運賃のままであるため、設定した上限額と通常運賃との差額は市が負担する。
- ・ 上限額 ２００円（※障がい者等の割引該当者は半額の１００円）
- ・ 対象停留所 検討中
- ・ 運用開始予定日 令和２年４月１日

本市で運行しているコミュニティ交通のうち、「かこタクシー」の運賃体系が１００円・２００円・３００円となっており、上限運賃制度の導入に伴い、１００円・２００円に変更する。
また、今後導入するコミュニティ交通の運賃についても最大２００円までの運賃体系とする。

<意見・質疑応答等>

(委員)

他市での導入事例は。

(オブザーバー)

平成２７年度から三木市で実施されている。

三木市では月平均１，４００名の増加となった。

ただし、高校生の通学利用で定期から上限運賃での利用に切り替えた方も多くあり、実際の増加は１，０００名～１，２００名程度ではないかと思われる。

(委員)

市の負担の試算額は。

(事務局)

現状の実績ベースで約１，５００万円と聞いている。

(委員)

システム開始当初は神姫バスのニコパカードに限定してということであるが、将来的に他のＩＣカードも含める予定はあるのか。

(事務局)

神姫バスの専用システムを介する必要があるため神姫バスのニコパカードに限定されるが、他のＩＣカードとのシステム統合などがあれば将来的には可能かもしれない。

(委員)

他市では敬老パスなどがあるが加古川市にはなく、医療機関に行くのにバスを利用している人から運賃が高いという話を聞いていたところなので、この制度が実施されると喜ばれると思う。

(委員)

制度の導入により、利用者は安くバスが使える、バス事業者はＩＣカードの普及と利用者の増加が見込まれる。双方にとって良いことだが、利用が増えると市の負担も増える。制度を継続していくために財政面の確保をお願いしたい。

■その他

(委員)

加古川市は警察署あたりの免許取得率、自家用車の所持率、免許返納者数が県下トップである。

困っている高齢者や地域住民の声を吸い上げながら、良いコミュニティ交通を検討していただきたい。

また、高齢者や障がい者の方以外にも、18歳未満の方は免許がなく、自転車利用が多い。市内では自転車事故も県下平均よりも多く、公共交通の充実が交通事故等の減少など良い効果をもたらすので、そういった面も考慮して検討いただければありがたい。

(委員)

定時定路線では空のバスが走ってしまうことから、オンデマンドの交通を導入する市町も増えてきている。

オンデマンドの交通は利用が増えると、ルート設定などの負担が増大する。

そのため、最適なルートを設定するのにＡＩを活用したデマンド乗合バスの実証実験が九州の一部で実施されている。

また、スマートフォンのアプリを活用し、タクシーの配車や相乗りなどが出来てきている。いろいろと課題はあり、国交省ではインターネットモニターを募集するなどして、いろんな方の意見を聞いている。また新たな動向があれば情報提供としてお伝えしたい。